

学校教育目標

さらなる

創造への挑戦

【校訓：児童・生徒のあいことば】

自主 かしこく 自ら求め学び続ける子 「知」
 晴明 あかるく 明るく晴れやかな心をもつ子 「徳」
 壮健 たくましく たくましく生きようとする子 「体」
 敬愛 あたたかく 人を敬い、郷土を愛する子 「情」

重点目標

○子どもの「挑戦力」をのばす
 学習環境づくり
 ○地域との「絆」をより太くする
 具体的取組の蓄積

みんなで

友だちを
学校を

そして

ふるさと・未来を
つくっていこう



【地域の願い】

- 子どもは町の未来
- 小中一貫教育で、
ゆとりや継続性のある教育を
- 心豊かな子ども、地域を愛する子

重点

【活用期】

段階的に教科担任制を導入。これまでの学習や生活で身につけたことを活用し、学力の定着と論理的思考の育成を図る。

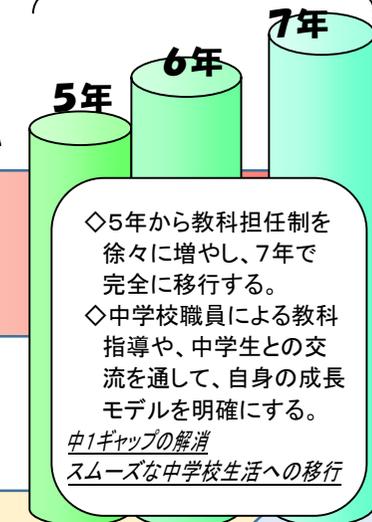
【発展期】これまでに身につけたことを発展させたり、生き方を考えたりすることを重視。自らの課題を見つけ解決する力を育成し、個性や能力の伸長を図る。

ソサエティ5.0の
時代に向かって

【基礎充実期】学級担任制を基盤に、繰り返し指導や補充指導を重視。学習規律や基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。



◇幼保小連携も含め、行事や交流活動を通して、上級生のお兄さんお姉さんに大事にされる経験を積みあげる。
 自己肯定感や年長者へのあこがれの気持ちの醸成



8年 9年

◇行事や交流活動を通して、小学生とふれあい、年長者としての自覚を高め、共に育つ。
 年少者を
 慈しむ気持ちや
 自己有用感の醸成

自分の考えを、絆に、表現できる、
 これからの予測不可能な時代を生きるための、
 汎用性の高い思考力の育成への挑戦！

<重点活動>

- あいさつ**
 - あいさつを交わして、仲間づくりの第一歩を
 - あいさつのあふれる明るい学校づくり
- 交流**
 - 学級・学年の仲間づくり（同年齢交流）
 - 保・小・中の交流（異年齢交流）
 - ふるさと学習（地域交流）
 - ゆめゆり（小諸養護学校分教室）との交流
- 歌声**
 - 歌うことで心をつなぐ仲間づくり
 - 歌声の響く温かな学校づくり
- 清掃**
 - 学校を大事にする仲間づくり
 - 美しく、生活しやすい学校づくり
- 学び合い**
 - 向学の気風ある仲間づくり・学校づくり
 - 読書活動・家庭学習の充実
- 健康な体づくり**
 - 早寝早起き朝ごはん、歯みがき
 - 運動の生活化、体力づくり
 - 食育の充実

《教育活動を支える基盤》

- ◇子ども理解と個に応じた指導、自尊感情の育成
 授業のUD化など個に応じたきめ細かな学習や生活指導・特別支援教育を充実させるため、TT・少人数学習・個別支援・人権教育や、関係機関との連携を進めていく
- ◇授業力向上
 分かる・できる授業をめざして、「3観点」を子どもの立場でとらえ直し1単元・1時間の授業をデザインする。
- ◇地域連携
 保護者・地域の方々と目的を共有し、共同の活動を充実させ、共に地域の子どもを育てる意識を醸成していく。

R2年度は、
ICT教育（生活科）英語教育
健康教育
を窓口に

9年間見通した指導カリキュラムで効果的・系統的指導
 9年間の独自英語教育カリキュラムでELTとチームティーチング
 キャリア教育につながるふるさと学習
 児童・生徒理解を深め、一貫した生徒指導・進路指導・特別支援教育等を推進

※society5.0とは…AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会の姿